

労務安全書類作成サービス「グリーンサイト」や作業間連絡調整サービス「ワークサイト」など建設業向けクラウドサービス「建設サイト・シリーズ」を展開するMCデータプラス（東京都渋谷区）。建設業界の要望を取り入れながら、サービス拡充を着実に進める。正確な情報を蓄積することで、建設業界が有効に活用できるデータを構築していく。顧客の生産性向上や働き方改革に貢献しながら、自社の成長につなげていく。

——就任の抱負を。

「建設業は就労人口や市場規模が非常に大きく、各社の歴史も長い。社会インフラを支えている建設業界にデジタルで貢献したい。緊張感を持って臨み、ご指導いただきましたながら成長していきたい」

「安全書類を管理するグリーンサイトや作業間調整サービスであるワークサイトなどをそろえている。元請会社の契約数が400社、契約企業

## MCデータプラス

たきた こういち  
**瀧田 晃一氏**

# デジタル通じ生産性向上

数が8万5000社を超え、170万人超の作業員データを格納している。全現場で導入いただいている大手ゼネコンもあり、広く使われ始めている。利用者の要望を聞きながらサービスをアップデートしていくことがベースだ」

——データ活用の重要性が増している。

「建設キャリアアップシステム（CCUS）とデータ連

携している。就労履歴の50%弱程度は建設サイト・シリーズ経由での登録だ。入退場管理では、カメラ認証を含めて提供している。コロナ禍で着実に広がってきている。リモートのコミュニケーションに活用してもらうためのデジタルサイネージのサービスの検討も始めている」

おり、建設業界の省力化や生産性向上につなげることが重要だ」

——今後の展望を。

「作業員が現場で使うシリーズなどを共同購入できるサービスをトライアルで始めている。イメージ先行だが、蓄積したデータを活用して、資金繰りにつながるような姿もあるのではないかと。金融的なサービスも考えていきたい」

「建設業界の課題を一度に解決できるとは思っていない

が、安全書類や作業間調整などで少しずつでも効率化すれば、数年という現場の中で業務時間短縮に寄与できる。（複数の器具に電気を供給する）テールタップのようにデータをつなぎ合わせる存在になり、プラットフォームの一翼を担うことが目標だ」。



## 新社長

1994年早稲田大学理工学部機械工学科卒、三菱商事入社。データセンター開発・運営などを手掛けた後に、2017年MCデジタル・リアルティ社長、20年三菱商事デジタル戦略部長代行。何事にも誠実に向き合うことがモットー。週末はガーデニングやテニスの練習でリフレッシュする。千葉県出身、51歳。

「入力データが少しでも異なると、1人のデータが2人として認識される恐れがあるが、アナログ作業でデータとしての真正性を確保してきた。地道に続けた結果、DXにかなうデータになってきている。蓄積したデータはわれわれの物ではない。（顧客と）データ連携できるようにして

（7月1日就任）

